

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館
2019年11月1日
11月号(隔月発行)

Vol.14

秋も深まり、今年も残すところあと2ヶ月となりました。

今月の「シリーズ 図書館でめぐる郷土」では、「久宝寺寺内町」をご紹介します。戦国時代、日本各地で浄土真宗の寺院や門徒を中心に民衆たちが結束し、守護大名や領主から独立して特権を持ち、自治を行っていました。こうした寺院を中心に作られた「寺内町」が久宝寺にも存在していました。

シリーズ 図書館でめぐる郷土

第十四回 『久宝寺寺内町』

文明2年(1470年)、浄土真宗本山である寺院、本願寺の宗主・蓮如^{れんにょ}が久宝寺で浄土真宗の布教を行いました。そのとき「帰する者市の如し」と言われたほど、浄土真宗を信仰・帰依する人が多かったようです。初め、蓮如は、河内の中でもひととき古い浄土真宗寺院である「慈願寺」^{じがんじ}を道場として布教活動を行っていましたが、文明11年(1479年)に、「西証寺(現在の「顕証寺」)」^{さいしやうじ けんしやうじ}を創建し、浄土真宗の新たな活動拠点としました。

久宝寺が寺内町として成立したのは、天文10年(1541年)12月15日のことです。寺内町として得た特権の具体的な内容は不明ですが、このことは『天文日記』にも「久宝寺、西証寺之制札認来候」と記されています。顕証寺が久宝寺寺内町における一切の支配権を持ち、やがてその権は顕証寺の創建にも協力した、久宝寺城主・安井氏にゆだねられました。以後、町には人家が増え、経済活動が盛んになり、当時の代表的な自治組織として繁栄します。

久宝寺寺内町が発展した理由として、交通の面でも恵まれた場所に位置していたことが挙げられます。摂津から天王寺、平野を経て大和へ通る八尾街道の主要路にある、旧大和川河畔に位置し、大坂から南大和へ通じる水上交通の要衝の地でもあったため、中・南河内の浄土真宗信徒集団を束ねる拠点となりました。しかし、慶長17年(1612年)に、片桐且元^{かたぎりかつもと}による検地を受けた際に支配権を返上しました。そして久宝寺は寺内町としての特権をなくし、寺内町70年余の歴史に幕を閉じたのです。

さて、実際の寺内町はどんな姿をしていたのでしょうか。戦国期の久宝寺の絵図は残っていませんが、寛永年間(1624~44年)に描かれたといわれる「久宝寺屋敷方絵図」によると、顕証寺の西・北・東に広がる浄土真宗信徒の屋敷すべてを含めた地位の周囲に大和側の水を引いた二重の濠をめぐらせ、濠と濠の間に土塁をつらね、町の東西南北の出入口それぞれに、木戸門と番所を設けた様子が描かれています。

寺内町出入口付近の道路はかなり広く、寺内へ侵入したときに直進できないようT字路になっており、木戸門を通るには通行手形が必要でした。町内は東西に7本、南北に6本の道路で碁盤の目状に区切られています。その絵図から、戦国期の久宝寺の街並みが想像できるかもしれませんね。

今でも久宝寺小学校の裏手に濠の一部と、碁盤の目状の町割りが残っており、寺内町であったころの名残が感じられます。江戸時代から現存する町家も軒を連ね、美しい街並みを見ることができます。風情漂う景観を楽しみながら、ゆっくり散策してみるのはいかがでしょうか。



参考資料

『久宝寺寺内町公式ホームページ』 <http://kyu-machinami.or.jp/>

『大阪府の歴史散歩 <下>』2007年 山川出版社

『変わる寺内町像』2014年 八尾市立歴史民俗資料館

『まち、つややか久宝寺寺内町』2004年 八尾市

『顕証寺と久宝寺寺内町の沿革』2003年 顕証寺・久宝寺450年事業委員会

【右下写真】久宝寺寺内町公式HPより
顕証寺本殿 画像

11月のTopics&Information



-Topics

職場体験



龍華図書館では、毎年中学生の職場体験を受け入れています。

生徒の皆さんはカウンター業務や返却された本を棚に戻す作業のほか、本に透明のフィルムをかける作業や、オススメ本のPOPの作成などを体験します。

カウンターではスタッフがサポートしながら、利用者の方が持ってきた本の貸出や返却を実際に行います。最初は緊張して表情が硬くなりがちですが、段々慣れてくると笑顔も出てきて、みんな大きな声で挨拶が出来るようになります。

オススメ本のPOPは、自分の言葉で一生懸命にその本のどこが面白いのかを書いてくれたり、カラーのイラストを描いてくれる子もいて、熱意が伝わってきます。

もともと図書館が好きだった子も、最初はそうでもなかった子も、職業体験を通じてより一層図書館に親しみを持ってくれば幸いです。



本の並び方を覚えて
元の場所に戻します。

-Information 講座のご案内

はじめての狂言

- 日時… 2019年11月3日(日)
- 時間… 14:00～15:30
- 場所… 龍華コミュニティセンター3階 集会室
- 対象… どなたでも
- 定員… 30人

講師に茂山忠三郎さんをお招きし、
狂言の楽しみ方をわかりやすくお話しいただきます。

また狂言「八尾」の解説や、狂言「寝音曲
(ねおんぎょく)」の実演もして頂きます。



『野村万蔵の狂言へござれ』

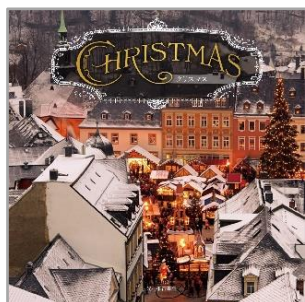
(資料コード:710584350)

野村 万蔵/著

和泉流狂言師・九世野村万蔵が、「蝸牛」「蚊相撲」「三番叟」など、13の狂言の演目をわかりやすく解説。演じ手の目から見た曲の魅力や見せ場も紹介する。『なごみ』連載をもとに加筆し書籍化。

【TRCマークより】

今月の一冊はコレ!



『CHRISTMAS クリスマス』

(資料コード:710531039)

光村推古書院編集部 編/光村推古書院 出版

街はイルミネーションで彩られ、早くもクリスマスムードが漂っています。みなさんはクリスマスをどう過ごす予定ですか？ 仕事が忙しく、クリスマス気分を味わっている暇なんてない…そんな声も聞こえてきそうですね。

本書はドイツのクリスマスマーケットを中心に、世界中のクリスマスの風景を紹介しています。美しくきらめくイルミネーションや可愛い街並みは、さながら童話の世界のよう。

忙しい日々の傍らに是非この本を開いて、おとぎの国を旅してください。

発行・編集

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

